

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3156197号
(U3156197)

(45) 発行日 平成21年12月17日(2009.12.17)

(24) 登録日 平成21年11月25日(2009.11.25)

(51) Int. Cl.		F 1		
H 0 1 L 33/00	(2006.01)	H 0 1 L 33/00		L
F 2 1 S 2/00	(2006.01)	H 0 1 L 33/00	4 2 2	
F 2 1 Y 101/02	(2006.01)	F 2 1 S 2/00	3 1 1	
		F 2 1 Y 101:02		

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願2009-7131 (U2009-7131)
(22) 出願日 平成21年10月7日(2009.10.7)

(73) 実用新案権者 509279963
柏友照明科技股▲ふん▼有限公司
台湾桃園縣▲亀▼山郷科技二路37巷37
號
(74) 代理人 110000729
特許業務法人 ユニクス国際特許事務所
(72) 考案者 呉 朝欽
台湾台北市文山區興隆路二段244巷6號
2樓

(54) 【考案の名称】 区分して点灯可能な発光ダイオード封止構造

(57) 【要約】

【課題】 ユーザの異なる用途に応じて、発光領域を複数の発光エリアに分割し、各エリアについて区分して点灯できる発光ダイオード封止構造を提供する。

【解決手段】 基板ユニット1は、基基本体10と、複数のチップ載置領域11と、複数の正、負極電気パッド11a, 11bとを有し、正極電気パッド11aは、互いに絶縁された複数の正極電気パッド群S1に分けられ、各正極電気パッド群S1の正極電気パッド11aは互いに接続される一方、負極電気パッド11bは、互いに絶縁された複数の負極電気パッドS2に分けられ、各負極電気パッド群S2の負極電気パッド11bは互いに接続される。発光ユニット2は、基基本体10に設けられた複数の発光ダイオードチップ20を有する。封止ユニット4は、基基本体10の上面に発光ユニット2及び導電ユニットを覆うように成形された光透過封止コロイド40を有する。

【選択図】 図1A

